

もっと、
あきる野。



あきる野の未来を守りたい

市議会議員となって4期13年。あきる野の未来のために専心し力を尽くしてきました。現在の市政は、不適切な言動を重ねる市長によって混乱を極めており、「このままではいけない。議会で団結して、何とか状況を打開しなくては」との一心で市長への緊急質問を行いました。そのダイジェスト動画です。



令和4年6月議会
市長への緊急質問 動画

公式サイト・SNSにて情報発信中! こそもり敏人と「もっと、あきる野」の会

<https://www.kogomori.com/>



☎ 080-1202-7567 ✉ info@kogomori.com

〒197-0801 東京都あきる野市菅生1753 討議資料

My Home Town Akiruno Report
The **KOGOMORI**
TIMES
前あきる野市議会議員
こそもり敏人 活動レポート

vol. 41
2022.7

特集号

次へ、みんなまで。

前あきる野市議会議員

こそもり敏人

4期13年の活動とこれから



2009年7月より、あきる野市議会議員として活動してまいりました。

1期目:2009年7月～2013年6月 2期目:2013年7月～2017年6月
3期目:2017年7月～2021年6月 4期目:2021年7月～2022年6月
本会議も常任委員会も無遅刻・無欠席・無早退!(4期13年)

この4期13年間、選挙毎に掲げてきた公約(マニフェスト)を着実に実行し、皆さんからいただいた声にも寄り添って、様々な政策をカタチにしてきました。一方、議会内でも重要なポストを任せていただき、様々な改革も行っています。これからも、みんなの「もっと」をカタチにしていきます!

議会内での主な役職 福祉文教委員長、環境建設委員長、決算特別委員長、議会改革推進委員長、国民健康保険運営協議会会長、議会運営委員長などを務め、2017年7月には44歳で市議会議長に就任。

あきる野生まれ! あきる野育ち! こごもり敏人 プロフィール

1973年 あきる野市菅生生まれ。多摩川幼稚園、多西小学校、御堂中学校、東海大学菅生高等学校、立教大学経済学部経済学科卒業。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科博士前期課程修了。

2009年 西の風新聞社、時事通信社での記者生活等を経て、あきる野市議会議員に初当選。

2013年 あきる野市議会議員に再選。議会改革推進委員長、環境建設委員長、決算特別委員長、議会運営委員長など歴任。

2017年 あきる野市議会議員に3選。44歳で市議会議長に就任。

2021年 あきる野市議会議員に4選。議会選出のあきる野市監査委員に就任。

生年月日 1973年7月12日、かに座 **血液型** A型

家族 横浜生まれの妻(昭和女子大学卒、管理栄養士)と幼稚園に通う5歳の長女、保育園に通う2歳の長男と4人暮らし

好きなこと 料理、子どもの絵本を探ること、家族でドライブ

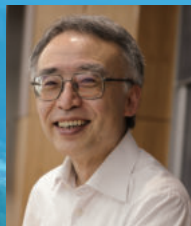
所属団体 ボーイスカウトあきる野第1団、あきる野ホストファミリークラブ、あきる野市ラグビーフットボール協会、あきる野青年会議所シニアクラブ、菅生歌舞伎菅生一座、全国若手市議会議員の会OB会 など



応援
しています!



元三重県知事
早稲田大学名誉教授
北川 正恭



立教大学名誉教授
中村 陽一



大阪府泉佐野市 市長
千代松 大耕



第50代
横浜市長
横山 正人



第113代
静岡県議会議長
山田 誠

全国47都道府県
に広がる
ネットワーク!

教育・学び

●キャリア教育や国際人養成の推進

キャリア教育の推進としてオンラインやタブレットを活用した職場体験や講演会の実施を提案。また、あきる野ホストファミリークラブに所属し、国際姉妹都市の米国マールボロ市との交流を推進。

●小中学生への学習支援

平成26年の9月議会で提案したことなどを受けて、28年度初めて行った小学5・6年生と中学1年生への学習支援事業。29年度には対象学年が小学5年生から中学2年生まで拡大され、市は年々、支援内容の充実を図っています。

●教育環境の充実

ICTの活用や通学路へのグリーンベルトの設置、校庭のスピーカー改善や特別支援教室の改修などを推進。

●図書館福袋の実施

図書館を利用する人たちが、新たな本や知識と出会う機会を創出する「図書館福袋」の実施を提案し、実現。現在では定期的に市内の全図書館で実施されています。



明るい未来のために 子どもたちと家族が暮らしやすいまちへ

子育て

●授乳施設や病児・病後児保育の充実

ママやパパが安心して外出できる環境づくりとして、公共施設への授乳室の設置や病児・病後時保育室の開設を推進。屋外イベントなどで活用できる「移動式の授乳室」の配備や貸し出しも提案し、実現しました。

●子育て応援サイトやアプリの開設

健診や予防接種など、子育てに関するあらゆる情報を集約し、ママやパパがいつでも情報を得られるサイトの開設を提案し、実現。

●公園や広場・学童クラブの充実、^{もくいく}木育の展開

公園のベンチ改修や砂場の砂の入れ替え、若葉第二学童クラブの開設などを実現。赤ちゃんが木とふれあう木育も展開し、母子健康手帳の交付時に、地場産材で作った積み木の配布も開始。

●産後ケアや産後うつ対策、産前・産後サポートの充実

産後のママを幅広くサポートする産後ケア事業や産後うつ対策の充実を推進。産後うつでは、母親だけでなく父親のうつも最近顕著になってきていることを議会で取り上げ、市でも対応が進んでいます。





暮らしやすいまちへ 市民みんなが健康で安心できるように

健康・福祉

● ケアラー支援の推進

ケアラーやヤングケアラーへの支援を訴え、市は検討を開始。市のホームページにもケアラー支援についてまとめたページが新設されました。



● がん検診の充実や健康寿命の延伸

がん検診の充実を求め、子宮がん検診と乳がん検診の同時実施がスタート。健康寿命を伸ばすことの大切さを訴え、市の長期計画などへ健康寿命の施策を展開することも明記されるようになりました。



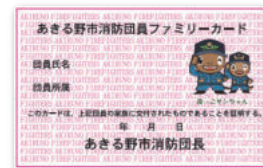
● 市内のAED設置促進

ゼロ予算によるAED(自動体外式除細動器)設置をはじめ、設置されていないグラウンドへの配備や、貸出用AEDを導入。また市内の設置箇所の拡大や見える化も進めています。

安心・安全

● 消防団や交通安全協会への活動支援

消防団員とその家族が地域のお店で割引などの優遇措置を受けられる「消防団サポート制度」の導入を提案し、実現。新たな消防車両や指令車の更新も支援。また、交通安全協会の倉庫を新設したほか、制服の新調についても予算化。



● 災害応援の締結

管生学園やドラッグストアなど、様々な団体との災害時応援協定の締結推進。



● 通学路への防犯カメラなどの設置

見通しの悪い市道や通学路に、ドライバーへ注意を促す道路標示や防犯カメラを設置。

● 乳児用液体ミルクなどの備蓄

防災備品の充実として、災害時に使える乳児用液体ミルクや非常用簡易トイレを備蓄。

● 振り込め詐欺対策

振り込め詐欺の被害が深刻さを増していることを受け、その対応策として、通話録音装置の設置推進などを提案し、展開。防災行政無線でのお知らせなども強化。





様々な提案や改革

目に見えて市民が実感できる改革を

議会改革



●議会広報紙のリニューアル

議会だよりを読みやすい「Gikaiの時間」にリニューアル。このアイデアや工夫は全国から注目され、視察が相次いでいます。

●全会派からの推挙を受け 議会改革推進委員長に就任

議会基本条例の制定や政務活動費マニュアルの作成、通年議会への移行など、様々な議会改革を進めました。

●議会基本条例の制定

議会改革推進委員長として平成27年の6月議会に「あさる野市議会基本条例」を提出し、全会一致で可決し成立。

●通年議会への移行

議会の機動力を高め、委員会の所管事務調査を強化する通年議会を実現。この機能強化はコロナ禍において、市長の専決処分を許さず、議会の意思を反映させる仕組みとして全国からも注目されました。

行財政改革

●職員採用説明会の実施

より有能な人材を確保するために、職員採用説明会を提案し、実現。説明会は年々工夫され、最近では職員採用のためのプロモーション動画なども配信されるようになりました。

●市有地の売却および貸付の促進

未利用地の積極的な売却や貸付を図るべく「未利用地等利活用基本方針」を定め、財源確保を強化。更なる利活用推進へサウンディング調査の活用も提言しています。

●寄附を活用したまちづくりや広告事業の拡大

ふるさと納税やクラウドファンディングの活用などを提案し、寄附を生かしたまちづくりや寄付実績の見える化を推進。広告事業は、のバス車内や市役所のエレベーター、くらしの便利帳、図書館の雑誌のブックカバーなど様々なところで新たに展開。

●窓口でのキャッシュレス決済の拡大

市役所窓口でのキャッシュレス決済の導入を推進。

●教育方針演説の実施

その年に教育委員会が重点を置いて取り組むことを教育長が述べる教育方針演説の実施を提案し、制度化。





文化を守り 発展へ

地域の絆を大切に 誇れるまちづくりを

観光振興・産業

●全国地芝居サミットの開催

市制施行20周年記念事業の一環として平成27年度に誘致。市内に残る農村歌舞伎を全国にPRできました。

●都心に近い利点を活かして

都心に近い利点を活かし、学会や企業研修などを誘致する「MICE(マイス)」の推進を提唱。旧戸倉小学校をリノベーションした体験研修センター「戸倉しろやまテラス」もオープン。コロナ禍ではワーケーションやロケツーリズムを推進。

●プレミアム商品券の発行

所属する会派で発行を要望し、複数回実施。



市民協働

●町内会・自治会ガイドブックの作成

町内会長さんらの負担軽減のために、町内会の運営方法や市役所への各種申請の方法などを端的にまとめたハンドブックを作成。

●情報公開

市が行っている「市民アンケート調査」のホームページ上での公開を実現しました。

●食べきり協力店制度の創設

商工会や市内の飲食店と連携して食品ロスを減らすための「食べきり協力店制度」を創設し、参加店舗を拡大中。



ごもりが提出者となった条例・意見書の一例

あきる野市議会基本条例

議会の基本理念や議員の活動原則などを定めた議会の最高規範。

市議会定例会の回数に関する条例の改正

あきる野市議会を通年議会へとシステム変更するために行ったもの。

「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の法制化を求める意見書

国民全てを対象とした、こころの健康についての総合的、長期的な政策を保障する基本法の制定を求めたもの。





信頼される議員へ
市民みんながいつでもどこでも見える

議員活動の見える化

●コゴモリタイムスの発行

元新聞記者のこごもりの日々の活動を分かりやすくまとめて発行している、その名も「コゴモリタイムス」。オフィシャルサイトからもダウンロードできます。



●オフィシャルサイトでの見える化

「こごもり敏人Official Site」では、こごもり敏人の議会質問や公約の進捗状況、毎月の活動報告など、4期13年の議員活動を多角的に見える化。コゴモリタイムスのバックナンバーやこれまでに掲載された新聞や雑誌などの記事も見ることができます。



●Facebookページなどでの情報提供

Facebookページやオフィシャルサイトなどを通じて、市の新たな取り組みや子育て支援情報、街のちょっとした話題など、市民に役立つ情報を幅広く発信しています。



新型コロナ ウイルスなど 感染症対策

●国や都へ直接声を届ける

西多摩8市町村および昭島市の若手議員らで協力して、各市町村がコロナ対策に求めていることを緊急ヒアリング。その結果を要望書としてまとめ、国や東京都へ提出したほか、市民からの個別要望についても国会議員へ提出するなどしています。



●予防接種期間の延長

コロナ禍のなか、予防接種を期間内に行うことを控えて期限切れとなってしまった子どもや保護者を救うべく、予防接種期間の延長を提案し改善しました。

●医療機関や医療従事者への支援

新型コロナウイルスの影響が長期化し、PCR検査の負担など、ひっ迫する医療機関や医療従事者に対する支援も行っていくべきと議会で訴え、コロナワクチンの接種がここで始まるのを前に、医療機関と医療従事者に市から支援金を出すことが決まりました。



●図書館への除菌機の設置

図書館で本を読んだり借りたりする時に、手軽に使える除菌機の設置を提案して実現しました。

●公民館へのWi-Fi設置

コロナ禍での市民活動や学びの継続支援のため、公民館へのWi-Fi設置を提案。今秋には設置されることになりました。

●SNSなどを通じた市民へのいち早い情報提供

市民が知りたいコロナワクチンの接種時期に関する情報や色々な支援策、副作用についてなど、新型コロナウイルス感染症に関する様々な情報を積極的に配信しています。





議長としての2年間

2017.7-2019.7



より開かれた議会・議長室へ

議場見学は議長自ら説明

小学生などの議場見学では、議長自ら積極的に応対。子どもたちの様々な質問にも全て答え、「将来、この中から議員が誕生してくれたらなあ」と、よく思っていました。また、ご覧になりたい団体見学の方には議長室もオープンにしています。

議長公務日誌を公開

「議長が日々どんな活動をしているのが見えない」と議員になってからずっと思っていました。そこで、議長就任時から日々の主な行動を市議会のホームページで公開する「議長公務日誌」というページを新たに設けました。



市議会の封筒も一新

開かれた議会を進めるうえで、私は議会の封筒も「議会の大事な顔」であり、そのデザインによって議会の印象も変わと思っています。そこで、議長として職員らと協力し封筒デザインを一新しました。

より行動する議長へ

様々な市民イベントに参加

市議会を少しでも身近な存在と感じてもらえるように、40代の議長らしくフットワーク軽く様々な行事やイベントにどんどん参加して、市民の皆さんとの対話をし続けました。「若い議長さんですねえ」とよく驚かれたり、若いところで始球式を頼まれることもよくありました。

都内の議長らと連携して 都へも要請活動

都内26市の議長で団結して、東京都市議会議長会として東京都へ要望書を提出するという新たな行動を行ったほか、西多摩8市町村の議長らと連携して東京都へ森林環境税の活用に関する要請活動を行うなど、都内の議長たちとの連携を密にして行政を前へ進めました。

全国サミットなどでも講演

早稲田大学の大隈講堂で行われた「全国地方議会サミット2018」に登壇し、全国各地で改革を進める議長らと講演やパネリストを行ったり、学会や議会改革を進めたい全国の議会にも講師として招かるなど、地方自治の発展にも力を尽くしました。

地域活動

交通安全運動

地域の交通事故防止に取り組む「交通安全協会」に所属し、交差点や祭礼での交通指導などに汗をかいています。



国際姉妹都市交流

あきる野市と国際姉妹都市を結ぶ米国マールボロウ市にホームステイし、「あきる野市国際化推進青年の会」の会長を務めた経験から、市民の交流や後輩の育成に長年取り組んでいます。



ボーイスカウト活動

「ボーイスカウトあきる野第1団」に長年所属し、今は団の運営を支える育成会の副会長となっており、スカウトたちの活動をサポートしています。



農村歌舞伎

地元菅生に伝わる郷土芸能の農村歌舞伎「菅生歌舞伎 菅生一座」の保存・継承に携わり、役者もやっています。

議員 子籠 敏人

全国行脚



マニフェスト大賞の実行委員長

全国の地方議員や市長らの優れた政策を表彰する「マニフェスト大賞」の実行委員長を2年連続で務め、現在は全国に約800人の会員がいる「ローカル・マニフェスト推進連盟」の共同代表を務めています。政策力ある議員をもっと全国に増やすべく、全国の仲間と切磋琢磨しています。

全国若手市議会議員の会 副会長

35歳までに初当選した超党派の若手議員で組織する「関東若手市議会議員の会」の会長を務め、その翌年には「全国若手市議会議員の会」の副会長に就任しました。全国に500人超の会員があり、改革意欲の高い若手議員のトップとして、皆を引っ張りました。



全国各地で講演

全国の市や議会、大学などから議会改革等に関する講演依頼もよくいただきます。子籠の改革マインドは全国へ。お役に立つなら積極的に受けています。



執筆活動

行政や議会の専門誌からの執筆依頼をはじめ、全国各地の報道機関からの取材も多々あり、応じています。

これからの
重点政策

市民みんなの もっと、 をカタチに!



これからも、あきる野市民の「もっと」に全力で応えます!



もっと、子育て支援。

子育て力



私自身も子育て真っ只中! 働く子育て世代の目線で、パパもママも働きながら安心して子育てができる環境づくりに全力を注いでいます。

- 産前産後のサポートや産後うつ対策の充実
- 子育て応援サイトの内容充実
- 子どもの医療費や予防接種の助成拡大 など

もっと、教育支援。

教育力



全ての市民に対する学習環境の充実をはかり、あきる野らしい教育風土も育てます。

- 特別支援教育の充実
- 図書館の充実
- 寿大学の活動支援
- 児童・生徒の学力向上や教育環境の充実 (ICT環境の整備、部活動改革の推進等) など

もっと、健康づくり。

いきいき力



市民みんなが健康で、高齢者や障がい者もいきいきと安心して暮らせる「やさしいまちづくり」や医療の充実をはかります。

- がん対策の推進
- 健康寿命の延伸
- 検診受診率の向上
- 認知症対策
- スポーツの推進
- フレイル予防の推進 など

もっと、安心・安全。

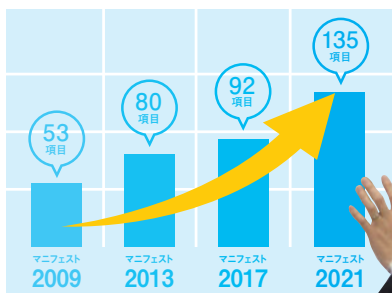
防災力



人びとの信頼感や絆を醸成するまちづくりを進めると共に、防災・防犯対策にも万全を期して、自然災害や犯罪に強いまちづくりを進めます。

- コミュニティ事業交付金の充実
- 消防団や交通安全協会の活動支援
- 災害対策や地域の見守り・特殊詐欺対策の強化 など

3期連続!
マニフェスト実行率 100%



2021年の4期目の選挙公約として掲げた135項目のマニフェスト「10の力を育むまちづくりプラスワン」の着手率は現在93%。

選挙公約
着手率

2021年7月~2022年6月

93%

詳しくはOfficial Siteにて→

わずか
1年間で

